

G3 のツイッター その 60

烈剛河内 竹井 保満

大阪府公安委員会から高齢者の運転免許証の更新の通知が来ました。

今回で3回目ですが、昨年から新たに認知機能検査が行われるようになり、それに合格しないと免許更新の講習や試験が受けられなくなります。75歳以下の方々には関係のない話ですが、もう5～6年すると団塊の世代が認知機能の検査を受けなければなりません。なぜ、大仰に認知機能検査が大変かと申しますと、自動車学校でしか認知機能検査をしないと言うことです。この間もNHKの放送で、現状で認知症検査を行うのは大変なことだと指摘していました。

一つ目には、高齢者で運転免許の更新を望む人が多い事、特に田舎の人は車が運転できないと生活に支障をきたします。

二つ目は、この認知機能検査を既存で民間の自動車学校に任せていること。

三つ目は、若い人が少なくなって自動車学校が閉鎖に追い込まれ、受験の場が少なくなったことです。

腹立たしく思うのは、認知機能検査を申し込んでも、どこの自動車学校も受け入れる余地が無く、検査が受けられなくて泣く泣く無免許になった人が出てきたことです。なぜ、検査は自動車学校でなければならないのか、公民館や学校の教室なら少子化で幾らでも空いているし、立ち会いの試験官はなぜ自動車学校の教官でなければ行えないのか、同じ民間人の検査立会人なら幾らでも作れる筈です。

私は昨日3月7日に通知が来たので、自動車学校にすぐに申し込みましたが5月20日にやっと認知機能の検査を750円で受けられる事に成りました。人生100歳時代の到来の時代と断トツ数の多い団塊の世代に、なんとお粗末な認知機能検査のやり方でしょう。

完全な自動運転者でなく、前に障害物が有れば止まる車については、高速道路での乍運転、即ち、携帯や喫煙が国会で審議とか。認知機能検査の運営のありようが先決と思いますが。

ともあれ、5月20日の認知機能試験に高得点を取るように頭の体操と体のトレーニング続けるきょうこのごろです。